



はちろうがた

2006年10月 89号

議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会 〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80
TEL 018-875-5810

平成18年度 八郎潟町敬老式より



まだまだ現役!



- ◆ 2～3ページ 一般質問
- ◆ 4ページ 委員会審議
- ◆ 5～7ページ 決算審査報告
- ◆ 8ページ 議員研修・議会のうごき

※前号の89号は、88号の誤りでした。訂正してお詫び致します。

一般質問



伊藤 秋雄 議員

行政に対する住民の不满

問 ①各団体への補助金削減、公共料金値上げ、少子化対策、8月から介護保険料の引き上げ、8月のアオコによる断水、町民が不安に思っている高い実質公債費比率などの問題にどう取り組むのか。

②第5次基本構想で大道西宅地分譲を実施し、人口を増やすとあるが何年頃まで人口を増やすのか。少子化対策と子育て支援で社会福祉協議会と連携し結婚支援に取り組むとあるが、どう取り組むのか。

答 ①アオコ発生に伴う上水道給水対策検討委員会を立ち上げる。公債費比率は、中学校の校舎、

体育館の改修工事、町道中央線事業、下水道事業などが大きく反映している。機会があれば町民座談会で説明する。

②宅地分譲化、販売、既存事業の拡大、新規事業の誘致促進、若者のAターン促進に取り組む。結婚支援では、相談員の配置、ふれあいの場を提供したがうまくいかず今日に至っている。

町の活性化のため、パリユー跡地の購入について

問 以前私は町外から訪れる観光客のためにパリユーの跡地を買い、願人踊り、一日市益踊り、町指定文化財などの歴史、文化、伝統を紹介するビデオコーナーを設置し、誰でも気軽に見られるような施設を建てるとか、町のイベントを行う広場、町民がくつろげる憩いの場として活用できないものかと質問している。6月から道路交通法が改正され路上駐車は違反になる。商店街には駐車場がないので買い物客も減少していく要因になっていく。町当局は利用度の高いパリユーの跡地を購入することを再度考えて欲しい。

答 厳しい財政難の現状では財政基盤を確立することが第一である。一方では商店街の活力ある町づくりも進めなければならぬので、投資しないでは何ができるか十分検討する。

危険力所に信号機の設置を

問 昨年、国道7号線から一日市商店街を結ぶ東西アクセス道路と町道「中央線」が完成したが、中央商店街から国道7号線

に出るのに変形型十字路交差点で、信号機もないため大変難儀して国道に侵入しているのが見られる。車の流れを確認するため停止ラインよりかなり前に出なければならず国道から中央線に入る車と接触する恐れがある。また現在の県道秋田・八郎潟線から町道湖東病院の手前の丁字路にも安全対策がとられていないため危険であるが当局は知っているのか。信号機の設置などの要望をしているのか。

答 どちらの道路についても見通しが良く、一時停止の標識があり、横断歩道があるので危険力所とは認識されず信号機の設置は難しい。今後交通安全協会はじめ五城目警察署と協議をしながら検討する。

財政力指数の改善について

問 8月26日付け新聞一面に、実質公債比率（総務省が2006年度から

導入した、自治体の財政健全をはかる新しい指標）が、八郎潟町は最悪の24・2%とあった。

現在の地方財政については、今は危機的状況にあると認識しているが、我が町もこのような数値になったもとは、中学校の改築、中央線の整備、公共下水道等の大きな資産を残した結果である。

しかし今後の問題として、低下する財政力指数にどのように対処するのか、経営収支比率の改善策は、バランスシートの採用は25%を超えるのか、今後の財政計画を町民に報告の予定は。

答 歳入歳出の見直しをし、厳しい財政を乗り越える努力をしている。バランスシートの採用は現段階では困難である。

平成19年度は25%前後と見ており、平成20年度以降下がる。今後何らかの形で町民に報告する。

役場窓口の一元化について

問 役場の組織も改革されて、職員も仕事に慣れてきたところと思います。庁内もコンピュータ化されており、窓口に来た町民のため、一箇所の窓口で手続きを済むようにする、このようなことが可能になるはずですが、窓口の業務の全てがすぐに一

答 県の湖沼指定の申請に伴い、県の水質改善に期待をし、町でも今後の対応に上水道給水対策検討委員会を立ち上げる。



金 一義 議員

元化することは、無理としても、定型的な業務等出来るものについては早急に対応できるように、システムを見直すべきと考えますが。

答 昼時間の窓口サービスに努めている。今後徐々に改善に努める。町民の意見を参考にしていく。

虐待児保護組織の構築について



小柳 勉 議員

安全な水確保のため、上、下水道の根本的な改善を期する「諮問委員会」を設けるべきと思うが、どうか。

問 馬場目川上流からの取水、良質な地下水の探査など、当面の施策、将来に亘る施策具体化のため、町内外の専門家による「諮問委員会」を設け

問 最近の藤里町での児童殺害事件は日本全国の注目を集め、また虐待の事件が増加している今日、厚生労働省では、深刻化する児童虐待の対策を促している。我が町の現在の状況はどのようになっているか。

答 第一回の協議開催は児童虐待推進月間である11月までに開催していきたい。また万全の対策をとっていきたい。

では、どうか。
答 今回のアオコ問題を今後どのようにするか大きな課題ですが、「対策検討委員会」を立上げて検討して参りたい。

アオコを発生させない八郎湖の効果的な水質浄化対策の実施を、国、県に要請を。

問 民間の有識者の方々が、将来構想の一つとして、米代川から17km水路を作り、浅内沼に導水し、浅内沼と八郎湖に通じている既設の水路を活かして、米代川の水を浄化に

役立てたいという提案をしております。

あらゆる面から効果的な対策の実施を、国、県に要請する必要がある。

答 県が来年度湖沼水質保全特別措置法の「指定湖沼」に指定の申請するので、八郎湖のアオコによる上水道障害に苦しんでいる本町では、大きな希望をもっている。

八郎湖の水質浄化策に海水導入の効果が大いと思う。強力な運動を（大潟村の飲料水に配慮しながら）

問 海水導入で期待される効果は、

- 1、アオコの発生抑制。
- 2、潟魚がおいしくなる。
- 3、シジミ貝の爆発的な増殖。

などであるが、平成2年海水流入で、年間一万一千トンも生産の頃、1㎡に1万箇所以上も確認。貝が浄化能力を発揮し、湖水が底まで澄んでいた。一石四鳥もの効果がある。又、ベテラン漁業者の提案ですが、防潮水門の

排水調整マニュアルを改善し、降雨予報を正確に把握し、降雨の前に、汚濁、滞留した水を極力排水し、流入河川からのキレイな水をムダなく残存湖に貯えることも、金をかけない方法である。

答 海水導入は、期待される効果があると思いい、以前から寺田知事に要請しているが、「防潮水門管理条例施行規則」で、

排水調整マニュアルを改善し、降雨予報を正確に把握し、降雨の前に、汚濁、滞留した水を極力排水し、流入河川からのキレイな水をムダなく残存湖に貯えることも、金をかけない方法である。



近藤美喜雄 議員

地域農業の将来を担える集落営業の育成を

問 このたびの経営安定対策は「集落内営業の一括管理、運営」も視野に入れたもので、本町においても押し寄せる農村の危機対策になれる集落営業の結成をすすめていただきたい。「結成するのはいいが先が見えない、税金対策は、転作と集落

このたびの経営安定対策は「集落内営業の一括管理、運営」も視野に入れたもので、本町においても押し寄せる農村の危機対策になれる集落営業の結成をすすめていただきたい。「結成するのはいいが先が見えない、税金対策は、転作と集落

・防潮水門の下流の水位に急激な変動を生じさせないこと。
・海水を調整池へ流入させないこと。
など、不可能との回答ですが、県の当面の対策の一つに、海水導入の可能性調査も取上げており、湖水の浄化のため、周辺市町村、漁協とも連携し、さらに積極的に働きかけたい。

介護保険制度の改正とネライ、サービスマン利用者の期待にどう対応するか

・防潮水門の下流の水位に急激な変動を生じさせないこと。
・海水を調整池へ流入させないこと。
など、不可能との回答ですが、県の当面の対策の一つに、海水導入の可能性調査も取上げており、湖水の浄化のため、周辺市町村、漁協とも連携し、さらに積極的に働きかけたい。

営業の役割は、具体的な組織運営のイメージを描けない」など、町内各地域でも大変迷走しているように思われます。順調に結成できる地域はいいとしても、それ以外の地域においては、本町版誘導資料、誘導目標をもって時間をかけ、じっくりとモデル地区を育成し、法人化も検討しながら、その効果が、具体的に他に影響を与えていく、そのような手法がとれないものか。
答 現在5地区で集落営業に対する作業を進めている。今後とも制度を活用しながら、地域の要請に対し積極的に出向き、

組織の立ち上げに力を注いでいきたい。

問 このたびの改正は、増え続ける対象高齢者と保険給付費の実態を踏まえ、「制度をいかに持続させるか」そのため給付の重点化をすすめ、「介護予防重視型社会への転換」も図るものと言われています。果たして改正後の介護保険が、介護サービスマン利用者にどのような影響を及ぼすことになるのか、サービスマンの撤退に連なるのではないかと危ぐする声も聞かれるがどうか。

答 19年度に地域包括支援センターを保健センター内に設置し、地域支援事業及び新予防給付事業を社協の地域トータルケア事業とも連携しながら実施し、介護予防活動を展開する。また新制度の移行には十分周知を図りながら実施していきたい。

委員会審議

総務教育 常任委員会

一般会計補正予算の歳出で主なものは、総務課関係では、庁舎4階ホールを書庫とする修繕料120万円・コンピュータウィルス対策等修繕料35万5千円の追加であり、

教育課関係では、小学校ポイラー室屋根及び昇降口フロアー修繕料97万円・スポーツ少年団(ハドミントン・レスリング)の大会派遣に伴う補助金37万1千円・国体リハーサル開催経費補助金856万4千円・中羽立公園噴水及びオリンピック記念会館前トイレ整備工事費(撤去)200万円の追加であります。

問 県の自治振興資金の元気枠について、具体的な計画はないか。

答 今年度の1億円については、当初5,000万円を活用、残りについては年度末に高利子のものについて繰り上げ償還を考えています。事業に

ついて明確なものはありません。

問 指定管理者制度にする目的は何か。

答 経費削減や民間活力利用等の効果を期待するものであります。



民生産業 常任委員会

「補正予算関係」

問 高齢者生きがいセンター解体工事費(木造平屋建、約40坪)は民間で通常行われている価格とは比較にならない程高いと思われる。なぜか、またその積算はどのようにして行われたのか。予算執行にあたっては、再度調査しながら、厳正な発注にあたっていただきたい

答 周りに住宅が密集しているため防じん対策に特に配慮している。予算見積りは設計をしている人と相談しながらまとめた。発注業者は未定だが、町内業者になると考えている。入札は行わず、見積りを徴することになる予定である。

問 負担金に計上されている男鹿市道中山堂ノ沢線整備事業費負担金2百661千円について説明していただきたい。

答 広域ごみ処理施設を建設する、男鹿市(旧若美町)の地元要望事業として約束されている進入路関係の道路整備事業で、18、19年度において実施するための18年度分の負担金であります。この事業は、地方道路整備臨時交付金事業として総事業費約2億3千万円で、男鹿市が事業主体となり実施するもので、延長1,400m、全幅8mで、一般財源分に対する本町12・24%の負担金であります。



老福センター屋根補修説明



北都銀行建設現場

総務教育常任委員5名、民生産業常任委員6名が、9月11日から14日にわたり、関係各課職員から説明を求め、質疑をし、審査を行いました。審査にあたっては、数字計算的には決算書、監査報告のとおりであり、委員協議のうえ政策遂行上効率よく機能しているか、また、予算配分上各事業が経済的に使用されているか、また適正・公正に町政運営が行われているかどうかを基準として審査いたしました。その経過と結果についてご報告いたします。



平成17年度決算 審査報告

◆議案第78号

平成17年度八郎潟町 一般会計歳入歳出決算 認定について

総務教育

予算執行の実績と効果について

平成17年度に計画された施策及び事業については、予定どおり実施されており、その主なものは、

- (1) 地域活性化助成金事業 (継続)
 - (2) 総合発展計画策定事業
 - (3) 地積調査事業 (継続)
 - (4) 町民体育館内部改修工事
 - (5) 八郎潟小学校校舎・体育館耐震診断調査事業
 - (6) 外国人英語指導助手業務委託事業
- などのほか、各種事業が実施されております。

健全財政の維持について
平成17年度決算において

① 経常収支比率

94・7%

(前年比 - 1・9%)

(75・0%以下が望ましい)

② 実質収支比率

4・1%

(前年比 + 1・2%)

(3・0%以下が望ましい)

③ 公債比率

22・5%

(前年比 + 1・3%)

(10・0%以下が望ましい)

④ 地方債許可制限比率

16・0%

(前年比 + 1・9%)

(起債制限値20・0%以下が望ましい)

となっており、依然、財政の硬直化が進んでいる。
この要因としては、こ

れまでの中央線道路改良事業や八郎潟中学校関連事業・公共下水道事業などの大規模事業の他、地方交付税や各種補助金制度の見直しが大きく影響を及ぼしてきている。

町では、財政の中期計画を立て努力しておりますが、「総合発展計画」に基づく重要施策や継続事業の完成。今後考えられる湖東総合病院改築・広域ゴミ処理場の建設・上水道、各種事業の財政需要の増大に対処するため、長期を見通した、歳入、歳出の年次計画を綿密に策定し、今後の町づくりに取り組みでもらいたい。

現地調査について

去る、9月12日午前10時00分より現地調査を行いました。

- ① 三倉児童館
- ② 町民体育館
- ③ 多目的広場 (防災センター隣接地)
- ④ 北都銀行新築状況
- ⑤ 役場庁舎 (外階段、4階ホール

の状況)

以上の5か所で、完成進捗状況、現場の実態について調査を実施しました。

審査した経過での指摘事項としての主なものは

- (1) 町税の収入未済額は17年度決算において5,835万円、不能欠損額は750万円となっております。町の財政にかかわる問題であり、全職員体制で真剣に徴収に励んでいると思いますが、今後とも強力に未納対策に取り組んでいただきたい。
- (2) 条例の施行及び各種事業の推進にあたっては、十分にその推進体制を整え責任のある実施を図っていただきたい。
- (3) 厳しい財政状況に鑑み、財源の確保と歳出を見直しながら行財政改革を推進し、常に健全な財政運営に心がけるよう要請します。
- (4) 歳入の確保にあたっては、町有財産の処分をも含め真剣に取り組んでいただきたい。

民生産業

予算執行の実績と効果について

平成17年度に計画された事業は、予定どおり実施されており、その主なものは、

(1) 福祉医療・障害者福祉事業

(2) 保育所運営関連事業

(3) 総合健診事業

(4) 三倉鼻児童館建築補助事業

(5) 塵芥処理事業

(6) 町道中央線整備事業

(7) 町道・下水路整備事業

(8) 農業被害対策事業

(9) 新農業水利システム保全対策事業

などであり、

健全財政の維持について

これらに対する主な歳入は、国・県支出金が252,882千円、その他の歳入が78,241千円となっております。

一方歳出では、

民生費 50,854千円

衛生費 300,551千円

労働費 32千円

農林水産業費

110,421千円

商工費

24,045千円

土木費

310,833千円

消防費

155,533千円

などが歳出内訳となっております。

現地調査について

9月13日、現地調査を行いました。

① 浄水場

② 老人福祉センター

③ 馬場目川堤防沿い未利用地

④ ゴミ最終処分場

⑤ 生きがいセンター

以上の5箇所、完成、進捗状況、現場の実態について調査を実施しました。

審査した経過での、指摘事項として主なものは

(1) 一般会計及び各特別会計において、収入未済・滞納額などがあり、この未収対策をさらに方法を再検討するなど、万全を期してほしい。
(2) ゴミ最終処分場について、今後の効率的な活用を考慮して、施設運営にあたってほしい。
(3) 施設を建設する場合は、設計上雨や雪などについて地域性を考慮し、コスト面においても、効果的な工事手法を選挙してほしい。
(4) サイクリングロードは草刈りや案内標示板の設置など、管理状況の向上に努めてほしい。
(5) 広域ゴミ処理施設建設計画は、現時点では当初計画がかなり変動していると思うので、随時必要に応じて情報を与えてほしい。
(6) 職員の執務体制について、担当者は事務内容や現場状況をよく把握し、プロ意識を持って職務にあたってほしい。

以上、総務教育常任委員会、民生産業常任委員会として指摘した事項はもとより、これまで指摘された事項についても早急に検討を加え、町民の負託に応えるよう望みます。

◆◆◆
採決の結果、満場一致で原案どおり認定すべきものと決しました。

議案第79号

平成17年度八郎潟町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

17年度国民健康保険総医療費は、1,172,862千円で前年対比1・

9%の増となっております。また、一人当たりの医療費は、前年対比2・5%増で、一世帯当たりの医療費は、0・5%増

となっております。予算執行による収支差引残高96,989千円、単年度収支では、6,835千円の赤字で、基金保有額は50,000千円となっております。

議案第80号

平成17年度八郎潟町上水道特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

(1) 収益勘定における水道事業収益は、年間有収水量が対前年度比で42・182立方メートル増加したことにより、給水収益が10,538千円の増額となっていることは、傾向としては喜ばしい。
(2) 資本的支出については、総額で41,665千

円と対前年度比大幅減額となっております。この要因は、企業債償還金の減額であります。8,480千円の内、財務省資金運用部からの借入資金の残高は425,162千円であり、借入利率は、年7・3%から4・4%と高い利率であり、低利の借換債の制度等について、

関係機関に要望していただきたい。
(3) 水道使用料の収納率が95・67%と、その収納努力は認めるが、今後一層の収納に努めていただきたい。
以上、採決の結果、満場一致で原案どおり認定すべきものと決しました。



◆ 議案第81号

平成15年度八郎潟町
土地取得特別会計
歳入歳出決算認定について

総務教育

主なものは、駅南団地
の分譲地買い戻し 8、
373、2000円と宅地
分譲等に伴う秋田県町村
土地開発公社への債務負
担行為償還金 36、2

35、368円でありま
す。

以上、採決の結果、満
場一致で原案どおり認定
すべきものと決しました。

◆ 議案第83号

平成17年度八郎潟町
公共下水道事業特別会計
歳入歳出決算認定について

民生産業

公共下水道事業として、
全体整備計画面積249
haのうち、202・17
haが整備済みとなりまし
た。

(水洗化率73・5%)
水洗化戸数は1、47
9戸

平成17年度末の進捗状
況は、

- ・ 処理区域人口は6、3
18人
- (普及率87・8%)
- ・ 水洗化人口は4、64
2人

今後とも、一層の普及
と水洗化の向上に努める
とともに、使用料、受益
者負担金等の収納に努め
ていただきたい。

以上、採決の結果、満
場一致で原案どおり認定
すべきものと決しました。

◆ 議案第85号

平成17年度八郎潟町
介護保険特別会計
歳入歳出決算認定について

民生産業

要介護認定者数は18年
3月末で364人で、前
年同期より14人の増加と
なっております。17年度
の介護給付金は489、
075千円で、前年対比
2・1%の減となっております。
内訳は、居宅介
護サービス費は訪問介護、
短期入所生活介護などの

増により、約12、56
0千円の増額、施設介護
サービス給付費は、約3
3、830千円の減額と
なっております。

以上、採決の結果、満
場一致で原案どおり認定
すべきものと決しました。

◆ 議案第82号

平成17年度八郎潟町
老人保健(医療)特別会計
歳入歳出決算認定について

民生産業

17年度に支払われた医
療費は、897、995
千円で対前年比約26、
000千円余りの増で、
伸び率は3・1%となつ
ております。

費は、789千円となつ
ており、対前年比約58
9%となつております。

以上、採決の結果、満
場一致で原案どおり認定
すべきものと決しました。

◆ 議案第84号

平成17年度八郎潟町
農業集落排水事業特別会計
歳入歳出決算認定について

民生産業

小池、浦大町処理施設
の維持管理につきましては、
水洗化戸数が201戸中
189戸で94・0%の水
洗化率となっております。

今後とも、一層の普及
と水洗化の向上に努める
とともに、使用料の収納
に努めていただきたい。

以上、採決の結果、満
場一致で原案どおり認定
すべきものと決しました。

◆ 議案第86号

八郎潟町名誉町民の
同意を求めることについて

議会最終日9月15日に、
八郎潟町名誉町民に栃木
県宇都宮市在住の野谷澄
夫氏を選任したい旨、追
加提案がなされ、満場一
致で同意された。



秋田県町村議会議員研修会

去る7月14日県市町村会館において全県町村議会議員研修会が開催されました。当日は「政局展望」と題し政治ジャーナリスト高橋誠氏「町村議会の課題と今後の地方自治」と題し中央大学教授の今村都南雄氏の講演がありました。



大会決議

- 一、松くい虫被害対策及びヤマビル被害対策の一層の推進を期する
- 二、八郎湖水質浄化の抜本的対策の早期推進を期する
- 三、秋田県立大学の新学科開設に関し大潟キャンパスを最大限活用されることを期する
- 四、馬場目川上流部山林への民間による産業廃棄物最終処分場建設に反対を期する
- 五、秋田中央地区広域農道の県道昇格を期する
- 六、八郎湖流入河口に放置されている廃船の早期回収を期する

南秋田郡町村議会議員大会

去る8月30日大潟村、サンルーラル大潟において、南秋4町村による議員大会が開催されました。

当日は、自治功労者として本町村井剛議員が表彰されました。

又、講演では「私の料理人生」と題し、ホテルサンルーラル大潟の取締役総調理長牧尾勲氏。大会決議は、満場一致で決議され関係機関に提出されました。



議会のうごき

- | | | | |
|--------|----------------------|--------|----------------|
| 7月5日 | 第1回臨時会、全員協議会 | 9月1日 | 議会運営委員会 |
| 14日 | 全県町村議会議員研修会 | 5日 | 全県消防操法訓練大会 |
| 20日 | 第2回臨時会 | 7日~15日 | 9月定例会 |
| 8月9日 | 全員協議会(アオコ対策) | 7日 | 湖東総合病院改築推進協議会 |
| 11日 | 南秋議長会 井川町 | 8日 | 議会広報編集委員会 |
| 14日 | 全員協議会(アオコ対策) | 15日 | 敬老式 |
| 15日 | 成人式 | 15日 | 議会広報編集委員会 |
| 24・25日 | 山形県、秋田県合同町村議会議長中央研修会 | 17日 | 全日本野鯉・鮒つり大会 |
| 28日 | 第3回臨時会 | 22日 | 議会広報編集委員会 |
| 30日 | 南秋田郡議員大会 | 27日 | 全県ゲートボール八郎潟大会 |
| | | 30日 | 八郎潟町誕生50周年記念式典 |

編集後記

◎本町は災害のない町とよく言われたが、今年は大雪に見舞われ、また夏にはアオコ大発生による長期断水で苦しめられた。しかし、町の職員やその他たくさんの方々の献身的な活動、近隣町村の援助で切り抜けることができた。緊急事態があれば、すぐにも救いの手がさしべられるのは幸せな環境に生きていると言える。そのことにまず感謝し、町長がおりにふれ言われるように、小さな町ではあるが「心の豊かさ」を置き忘れないようにしたい。

◎最近、毎日のように残酷な事件が報道されている。幸いにもわが町にはそういう事件はなく平穏である。厳しい財政難の中、いかにこの平穏な生活を維持していくのか。山積している諸問題に将来を見据えてしっかりと立ち向かい、勇気を持って取り組んでほしいものである。

(伊藤)